



燃える三つの条件

目の難病にかかり、盲目となった西亀真さん。現在は盲目のカウンセラーとして御活躍されています。今週は、この西亀さんの話です。

西亀さんは、盲目となり、「街中で『すみません』と助けを求める自分は哀れだ」と考えるようになりました。その気持ちを拭おうと、47都道府県一人旅へ出発することを決意します。その旅を無事に達成し、さらにはニューヨークへの一人旅を試みました。その旅行を通して、西亀さんが思ったことが以下です。

小学生の時に習った「物が燃える3つの条件」を覚えていますか？

まずは「燃える物がある」こと。次に「燃えるための温度になっている」こと。それから「酸素がある」ことの3つです。

だから、消防士さんは、このうちのどれかの条件を外すのです。ガス栓を閉めて燃える物をなくしたり、火に水をかけて温度を下げたり、酸素を遮断したりするのです。

私は**夢を実現させる時にも、同じように3つの条件が必要**なのではないかと考えました。

まずは「燃えるものがあること」。それは『**夢があること**』です。夢がないと、夢は叶いませんから…。

それから「温度」。これは『**夢を実現したいという熱意**』だと思います。

そして「酸素」。よく「夢は叶わない」といわれます。確かに、いくら強く「ダイエットしたい」「成績を上げたい」と思っても、思っているだけでは叶わないでしょう。そこで、夢に期日を設定すると「目標」が定まります。目標は達成することができます。私は『**夢に期**

日を設定すること』が「酸素」の役割を果たしてくれるのではないかと考えています。

つまり、

『**夢を持ち、情熱を持ち、**

期日を設定することが、

『**夢を実現させるために必要なこと**』なのです。



私は高校時代にいろんな過ちを犯しました。多くの人に迷惑をかけたことは、今でも後悔しています。そんな私にも、諦めずに粘り強く関わってくださった担任の先生。受験に不合格となり、浪人が決まった際も、定期的に連絡を下さり、私の話を聞いていろんなアドバイスをいただきました。私が教師を志そうと思ったきっかけです。

現在、抱いていた夢が実現し、教壇に立っています。何のために教師になったのか…。それは「先生と出会って、このように考え方が変わった。」「先生と出会って、こんな生き方もあるんだと知った。」「先生と出会って、人生が少し変わった。」…というように、生徒の心に夢や希望を与え、人生を生き抜く力を育ませ、今後歩いていく人生に少しでも役に立ちたいという目的のためです。

将来「〇〇になりたい」…これは『目標』です。何のために〇〇になりたいのか…これが『目的』です。そして、この『目的』を持っていることが大切だと思います。先輩から学んだ言葉の一つに、

『人生の目的』は、『目的ある人生を送ること』である

という言葉があります。私自身、教師にとって大切な資質である情熱や熱意。それがなくなったら、教師として働くことではないと思います。

話を戻しますが、あなたが過ごした『今日』が夢に近づくための『1日』であったか…。